

天溪 2019 年「花のスイス・アルプスハイキング 10 日間」

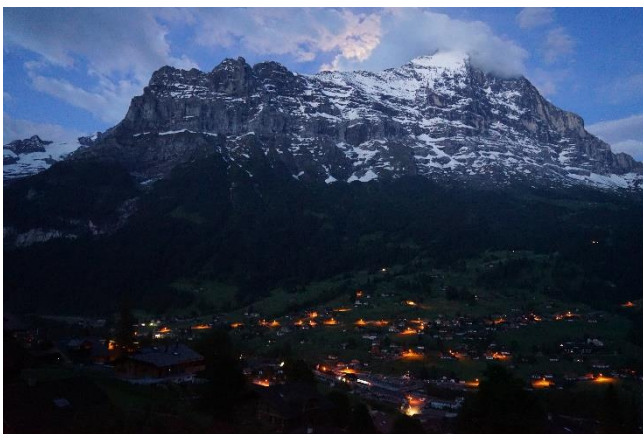
天溪の海外ハイキング入門コース「花のスイス・アルプスハイキング 10 日間」を 6 月 19 日～6 月 28 日に行いました。天溪定番のこのツアーも今年は 1 日長い 10 日間で実施です。出発前にグリンデルワルド周辺のライブカメラを覗いたところスキー滑走が可能な程の残雪量。今年も世界各地で異常気象、と思いながらスイスへ。矢張り残雪量は半端無し、ところがツアーも中頃のサースフェー辺りで天候激変。今度は毎日雲一つないドピーカンで、カラカラの乾燥快晴が続きました。勿論、気温も上昇し、標高 1600m のツェルマツで 30 度、1100m のシャモニで 35 度、100m のミラノに至っては何と 40 度。記録的猛暑だった 2003 年以来の暑さとの事でした。



(猛暑・午後 4 時のマッターホルン 6 月 24 日)

○グリンデルワルド

日本を発つ前から残雪量を気にはしていましたがクライネシャイディック方面を見渡してびっくり、物凄い量。今世紀始めからと言ってもこの 20 年弱で一番の量かと。おかげでバツハアルプゼーは分厚い雪に覆われ、クライネシャイディックからメンリッヘンに向かう雲上コースはクローズしてウエンゲン経由に。しかし、良くしたもので残雪の中にアネモネ、ゲンチアナ、翁草などの植物が咲いていました。



(早朝のグリンデルワルド村 6 月 21 日)



(メンリッヘン 6 月 21 日)



(バツハアルプゼー)



(ゲンチアナ種)



(アネモネ)



(アイガー北壁 6 月 22 日)

○サースフェー

冬はスキーリゾートの基地、夏は氷河滑走を楽しめるスキー場として有名なサースフェーはスイス内国最高峰のドーム (4545m) を隔て、ツェルマットと正反対に位置します。トンネルが開けば車で 10 分程度ですが、バスと電車を使い半島のように突き出した谷合を大きく回り込むので 2 時間以上掛かってしまいます。先にお伝えしましたが今年はこの地から天候が変わり、掲載写真の様に晴れに晴れて猛暑が続きました。

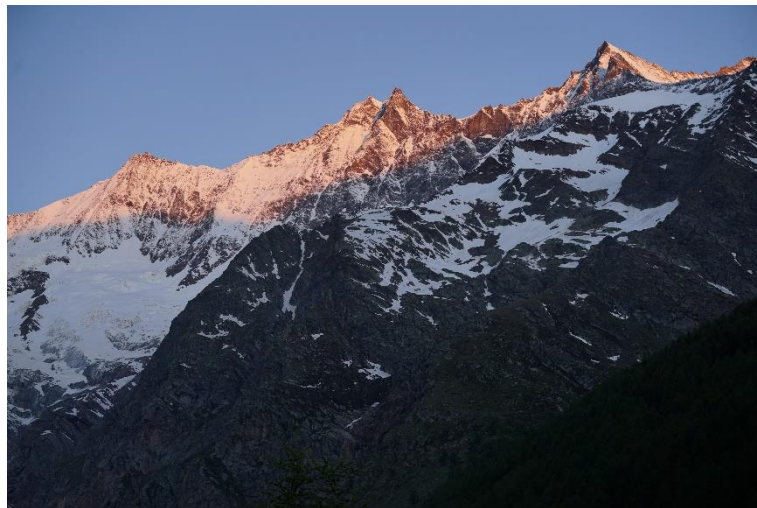


(サースフェー 6 月 23 日)



(木彫りの魔除け)

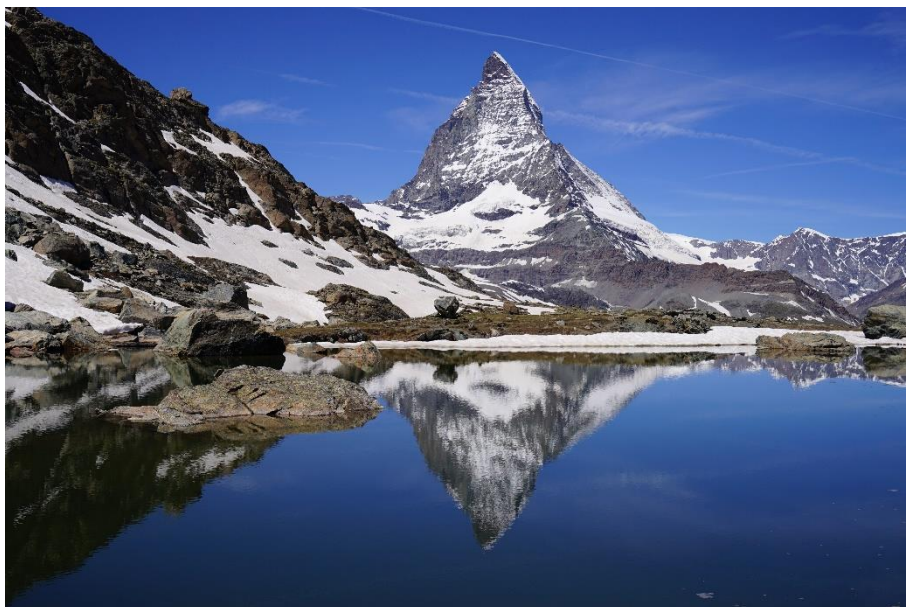
(餌付けもできるマーモット)



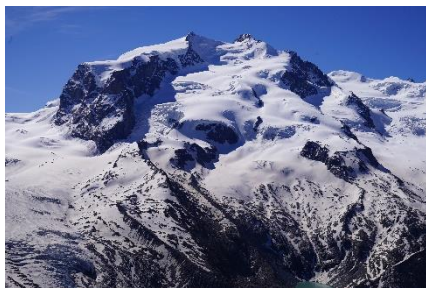
(ミシャベル山群・ドーム 4545m 6 月 23 日)

○ツェルマット

この数年天溪ツアーは逆さマッターホルンが大当たりで、今年も綺麗な姿を湖面に映してくれました。下の写真は恰もリッフェルゼーで写したように見えますが、少し下がった小さな湖で普段は通過してしまうところで撮影。この日はこの写真を撮っているところから気温が上昇し、乾燥した空気も手伝ってハイカーは干物状態でした。こんな時は水分補給が大切ですネ。



(逆さマッターホルン 6 月 24 日)



(モンテローザ)



(逆さマッターホルン上部)



(マッターホルン北壁)



(残雪のマッターホルン 6 月 24 日)

○シャモニ&アオスタ

今年は日程を1日長くし、赤い針峰群のフレジュール小屋に泊まりシャモニ溪谷を挟んで対岸のモンブランを楽しんでいただこうと考えました。ところがフレジュールのケーブルが掛替工事で今夏運休、その結果小屋も休業に。

そこでエギュードミディ展望台に登った翌朝、ブレバン展望台に登りモンブランを堪能。午後、車でモンブラントンネル、クールマイユールと通り、ローマ時代の遺跡が残るアオスタに向かいました。アオスタは北西イタリアに位置し古くからの交易都市、またチェルビニア(マッターホルン)、モンブラン、グラン・パラディソなどの名峰に向かうハブの町です。

余談ですが、今年はこの街を起点に2本のツアーを作ったものの、認知度不足か天候では珍しく催行不成立。結構穴場でピザやパスタも美味しく良い所なんです。...

<シャモニ>



(シャモニ・ブレバン展望台 6月26日)



(モンブラン)

<アオスタ>



(アオスタ・ローマ遺跡 6月26日)



(凱旋門)

2019 年 夏の天溪欧州ツアーは以下の通り実施されます。

- 7 月 10 日 発 スイス・楽園ハイキング 10 日間
- 7 月 18 日 発 フランスアルプス・パノワーズ 10 日間
- 8 月 20 日 発 ツールドモンブラン 10 日間
- 8 月 21 日 発 ピレネー国境横断ハイキング 10 日間
- 9 月 03 日 発 チロルとドロミテハイキング 10 日間

天溪 赤沼